



集まれ、花づくりが好きな人

将来、町全域を花で彩る夢いっぱいの構想です。

綺麗に咲き誇る花はとても魅力的です。大ノ瀬地区の有志により植栽されたコスモスは、毎年何万人もの観光客を呼び込んでいます。今後は、町中で一斉に開花した「花の道(=フラワーロード)」が動線となり、訪れる人を歓迎するとともに名所へ誘うような一体的な花づくりの構想を思い描いています。まずは、道の駅と大池公園ふるさと手づくり村を花いっぱいにする個人や団体を募集します。

平成24年度に検討しているイベントは次のとおりです。

- ①道の駅と大池公園ふるさと手づくり村での植栽事業。
- ②視察研修会を開催し、先進事例を学びます。
- ③植栽や維持管理など、技術的な研修会を開催します。

興味をお持ちの方は、企画情報課までお問い合わせください。



できることから 一緒にはじめませんか

地域特有の課題を解決するため、住民の皆さんの創意と工夫により提案された活動に対し、支援を行っています。これまでに34団体が「地域づくり活動団体」として町の認定を受け、景観保全をはじめ、歴史文化の継承、交流促進、集落の活性化、地域情報の発信など、自分たちの特技を活かした活動を行っています。

上毛町コミュニティ計画に掲げられた88のプロジェクトを推進し、いつまでも元気な町にしていくため、一緒に活動する方々を募集しています。事業に興味をお持ちの方は、お気軽にお問い合わせください。

活動を始めるための要件

- ① 5人以上のグループであること(町内在住または町内で勤務する方)
 - ② 上毛町コミュニティ計画の88プロジェクトに沿った活動であること
- ※計画書は企画情報課でお受け取りください。

主な支援の内容

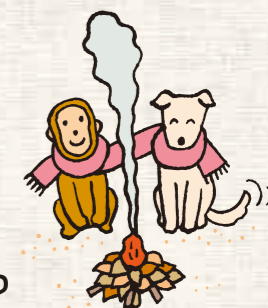
- ①活動費支援 限度額20万円まで補助します
- ②情報発信支援 地域づくり広報誌「上毛のいぶき」などで活動状況を発信します
- ③研修会 外部から講師を招聘してステップアップを図ります
- ④人的支援 活動内容の相談やイベントのサポートを行います

●問い合わせ先 企画情報課 TEL 72-3111(内線122)

地域づくりステップアップ研修会のお知らせ

ココが知りたい

都市農村交流とは？ 自分にもできるのでしょうか？



地域づくりの第一線で活躍している皆さんの更なるステップアップを目的として研修会を開催します。

今回のテーマは交流。講師には、各地でムラとマチを繋げる事業をプロデュースしている養父信夫氏をお招きして、近年、町内でも盛んになってきた「都市農村交流」の基礎から実践に至るまで、必要な知識や技術についてご講話いただきます。地域のボランティアガイドをはじめ、体験・交流活動、民泊、グリーンツーリズムに携わる方は必見です。皆さん奮ってご参加ください。

日時 ● 平成24年 **1月20日** [金] 18:30～

場所 ● 上毛町役場2階 大会議室

講師 ● **養父信夫** 氏

「九州のムラへ行こう」編集長、「九州ムラたび応援団」団長



- 地域力創造アドバイザー
(総務省 20年度は鹿児島県霧島市にて移住・定住のアドバイザー)
- グリーンツーリズム大賞2007特別賞受賞
- 熊本県小国町「九州ツーリズム大学」非常勤講師、
- 大分県安心院町「安心院グリーンツーリズム実践大学」副学長
- 九州のムラ市場(マリノアシティ内) 企画・立案者
- 体験型食育講座 「九州のムラ 食の学校」校長
- トヨタ自動車「Gazoo Mura」プロジェクト 企画・立案者
- ニッポン ムラの活力向上プロジェクト(ムラカツ)副実行委員長
- 六次産業化ボランテリープランナー ほか

Profile

養父信夫

1962年6月22日生まれ。福岡県宗像郡大島村、玄海町(現宗像市)で幼少を過ごす。

1986年、九州大学法学部法律学科卒。同年(株)リクルート入社。

1998年に独立し都市と農村をつなぐグリーンツーリズムを広げる活動を開始。

同年、「悠々とした地域生活の総合誌」「九州のムラ」の発行にたずさわる。現在、同誌編集長として、地域に生きる人々の暮らしを中心に取材を重ね、「九州のムラ」を通じ、ムラとマチを繋げる。20号からは「九州のムラへ行こう」にリニューアル創刊。また、講演や地域づくりのアドバイザーなど、グリーンツーリズムやスローフード運動の啓蒙活動も積極的に行っている。

2005年からは(株)マインドシェアに統合し、全国のムラ事業展開に向けて準備中。

九州のグリーンツーリズム実践者のネットワーク組織、九州のムラたび応援団の団長。

●問い合わせ先 企画情報課 TEL 72-3111(内線122)